

『ペツエッティーノ じぶんをみつけたぶぶんひんのはなし』

レオ=レオニ／作 谷川 俊太郎／訳 好学社 E

体の小さいペツエッティーノは、自分のことを誰かのとるにたりない部分品だと思っていました。ある日誰の部分品か確かめるため、冒険に出かけます。自分探しに出かけたペツエッティーノは本当の自分を見つけることができるのでしょうか。自分とは何か見つめ直すときに読んでほしい1冊です。

【絵本室にあります】



『あなたの言葉を』 辻村 深月／著 毎日新聞出版 914.6 ツ

著者自らの体験を元にした、真っすぐな優しい語り口のエッセイ集です。言葉にできない気持ちを抱えていた子ども時代、心の中で感情を整理するうちに会った「わたしの言葉」、筆者はそれらが大人になった自分を支えてくれると言います。成人を迎えるあなたにも、「あなたの言葉」を探してほしいと思います。



『きみを自由にする言葉 フォト名言集』 喜多川 泰／著

ディスカヴァー・トゥエンティワン 159 キ

「目の前のことに本気で生きれば、奇跡が起こる。でも、本当は、それは奇跡ではなく、あたりまえの出会いなんだ」この本の中の言葉は、すべて物語の登場人物が作品の中で相手を思いやって言った言葉です。これからの人生を生きていくうえで、この本があなたの悩みや葛藤をプラスに変えて前を向くための友となりますように。



『この世にたやすい仕事はない』 津村 記久子／著 日本経済新聞出版社 913.6 ツ

14年続けた仕事を燃え尽き症候群状態で辞めた「私」は、「1日スキンケア用品のコラーゲンの抽出を見守るような仕事」を求めて転職活動を始めます。紹介される仕事は、どれも少し不思議なものばかり。「私」は再び自分の仕事と居場所を見つけることができるのでしょうか。

【ティーンズコーナーにあります】



『空の見つけた事典』 武田 康男／著 山と溪谷社 451 タ

この本には、季節や天候によって、様々な表情をみせてくれる「空」が載っています。例えば、雲の隙間から差し込んでくる光のすじのことを、「天使の梯子」というそうです。心を落ち着かせたいとき、まだ見たことのない「空」を探してみたいはいかがでしょうか。私のおすすめは、富士山の雲海です。



『おちやのじかんにきたとら』 ジュディス・カー／作 晴海 耕平／訳

童話館出版 E

1軒の家にやってきた大きくて毛むくじゃらのとら。礼儀正しくドアから入ってきましたが、家中のものを食べたり飲んだりしてしまいます。そんな珍客にも、この家の人たちは、怒ることも怖がることもしません。シンプルなお話ですが、物語全体を包むおおらかさが素敵な1冊です。

【絵本室にあります】

